



○豊見城中学校学校教育目標 「自律、協働、創造し 未来を築く生徒」

【6/19 第6回島尻地区中学校 英語スキットコンテスト 最優秀賞受賞】

6月19日(木)に南風原町立中央公民館黄金ホールで開催された第6回島尻地区中学校英語スキットコンテスト(主催:島尻地区中学校英語教育研究会、ねらい:英語によるスキット(寸劇)を通して生徒のコミュニケーション能力の育成を図る。)に本校から3年生の垣花禾愛さん、伊敷柚希さん、酒匂真凜さん、泊桃愛さん、安田早里さんの5名が出場しました。5名は、「スマホが原因で友人関係がこじれ、いじめにつながっていきそうになる・・・。」内容を表現力豊かに演じ、「友人との良い関係を築くためにどんなことに気をつけていけば良いのか?」訴え、見事優秀賞を受賞し地区代表(2校)として県大会へ出場しました。県大会(7月10日)では惜しくも入賞は叶いませんでしたが堂々と見事な演技を披露しました。



【6/18 生徒総会(リモート総会)】

6月18日(水)、①「前年度の生徒会活動を総括し、今後の活動に活かす。」②「今年度の生徒会執行部及び専門委員会の活動計画・予算案や、前年度の決算報告等、各議案の民主的な審議・決定の仕方を体得させ、主体性や自治能力を育む。」③「学校生活の課題について自ら考え、学級討議等を通して、生徒の課題解決能力を育む。」ことをねらいに生徒総会(学級総会)を実施しました。先だって(6月3日)行った学級総会・討議(第3号議案「豊中アクティブを考えよう。ア.活発なあいさつを広げていくための「方法」を考える。」)で各学級が審議・決定した「日本一のあいさつができるようになるための取り組み」案をその後の代表委員会でまとめ、第3号議案「豊中アクティブ」として次のように提案可決されました。

○「日本一のあいさつ」のための新しい取り組みとして、以下のいずれかに取り組む

- ①「指名手配あいさつ週間(旬間)」
- ②「告知なしあいさつ名人週間(旬間)」



【6/24 「先輩に学ぶ」進路学習会】

6月24日(火)、①「本校出身の高校生を迎え、進路選択から決定までの経緯や、受験勉強の方法、高校生活の様子などの体験談を聞くことを通して、今後の進路選択や学習方法の参考にさせる。」②「各高等学校の特色や知識を深めさせ、進路の選択肢の幅を持たせるとともに、進路計画を見直し検討する機会とさせる。」ことをねらいに、県内5校の高等学校から5名の本校卒業生を講師に招き、「『先輩に学ぶ』進路学習会」を開催しました。今回は日程の都合上5校からしか卒業生を招くことができませんでしたが、夏休み明けにも第2回「『先輩に学ぶ』進路学習会」の開催を計画しています。

●「先輩に学ぶ」進路学習会講師

高等学校	名前(卒業生)
飛鳥未来さずな高校	松田和
首里高校	宜保美由姫
那覇国際高校	玉城蘭
浦添工業高校	當間かのん
那覇工業高校	武島勇乃心



【7/2 第42回豊見城市少年の主張大会】

7月2日(水)、豊見城市立中央公民館大ホールにて開催された第42回豊見城市少年の主張大会(主催:豊見城市青少年育成市民会議、共催:豊見城市教育委員会)に本校から3年生の宮城琉斗さん(演題:「当たり前」)と有銘観那さん(演題:「人の役に立つこと」)が出演し、それぞれ普段の生活やこれまでの体験を通して感じたこと考えたことを発表しました。惜しくも入賞することはできませんでしたが、内容も素晴らしく会場から多くの拍手をいただきました。



【7/5 第14回島尻地区 アートコンクール 準優勝】

7月5日(土)、沖縄工芸の杜で開催された第14回島尻地区中学校アートコンクール(地区中学校美術部専門部主催)へ本校美術部16名が出場し、課題(制限時間2時間以内に「みどり」から連想する絵画・立体作品を仕上げる。)に取り組み、見事団体の部準優勝に輝きました。また、個人部門立体の部で3年生の伊良皆沙衣さんが最優秀賞に輝きました。

